

令和6年3月8日

保護者各位

学校評価(後期)に寄せられた意見について

富士川第一小学校
校長 山本 和洋

日差しもだんだん暖かみを帯び始め、寒さの中にも春らしさが感じられるようになりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、12月にお願いした「学校評価アンケート」の結果を系統的に分析し、全校に関わるものや、多く寄せられた事項について教職員で話し合い、これまでの教育活動を振り返りました。来年度の学校運営に生かしていきます。

1 重点目標・学習について ※()内は、前期との比較

- 令和5年度の重点目標「えがおでチャレンジ!」について、児童の91.3%(91.9%,↘0.6p)が頑張ったと回答しました。保護者からは、93.1%(89.5%,↗3.6p)が「とても思う・思う」と回答しました。

◇ 重点目標について前期と比較すると、児童 0.6 ポイントのマイナスとなりましたが、保護者からの評価は、3.6 ポイントのプラスとなりました。全体の9割が重点目標「えがおでチャレンジ!」を達成できたと実感していることは、素晴らしいです。キャッチフレーズとして覚えやすいこと、様々な場面で意識できることなどが高い水準で目標を達成できた要因かと考えられます。今後も、何事にも自ら一人称となって挑戦できるよう支援していきます。

- 「進んで授業に取り組んでいる」
児童 86.3%(92.4%,↘6.1p)、保護者 86.2%(87.7%,↘1.5p)
- 「家庭で計画的に学習している」
児童 78.4%(82.8%,↘4.4p)、保護者 67.8%(69.9%,↘2.1p)
- 「読書が習慣化している」
児童 80.3%(86.6%,↘6.3p)、保護者 60.9%(69.9%,↘9p)

◇ これらの項目は、前期と比較すると全体的にポイントを下げています。児童の主体性と文書読解力については、今後も引き続き課題となります。自分から「やってみたい」「できるようになりたい」という気持ちで授業に臨んだり、家庭学習を自ら計画し実行したりすることは、主体的な態度を育てる上で大事なことです。読解力を育てるためには、文章や図表、写真、動画、グラフ等をビジュアル的に捉えるのではなく、要旨を読み取るためには、様々なジャンルの本を読んだり、新聞やニュースなどで時代の動きに触れたりすることも大切です。ご家庭でも折に触れ、話題にしてみてください。

2 「子どもたちにつけたい力」について

保護者が子どもたちに望む「つけたい力」について、前期と後期を比較してみました。

[前期]

自分の考えを伝える。(表現力)

あいさつ、正しい言葉遣い、善悪の判断。(礼儀、自律)

自分・個性を大事にして、協力してやり遂げる。(協調性、責任感、目標達成力)

[後期]

人とのつながりを大切に、感謝する心をもつ。(協調性)

SNSの危険性を知った上で、上手なコミュニケーションができる。(情報リテラシー)

人の良い所を見つかったり、共感したりする。(親切)

[前・後期共通]

互いに思いやりの気持ちをもって接する。(思いやり)

様々な情報に惑わされることなく、自分で考え、正しく判断し解決しようとする。(自律)



思いやる気持ちや諦めないで挑戦する気持ちをつなげる子を目指して、職員一同努めてまいります。

☆ 1問毎のアンケート結果は、学校ホームページからご確認いただけます。
<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kyouiku/rn2ola00004nkmy.html>